

大 上 宇 市

資料展報告

期 日 昭和62年 8月19日～9月6日

場 所 兵庫県立西播磨文化会館

出展目録

◇自筆書物（著作、編著作、抄録、写本等）	447点
◇研究資料（書籍、事典、会報、雑誌等）	528点
◇採集標本（貝類）	約300点
◇賞状・感謝状等	5点
◇書簡類	10点
◇拓 本（顕彰碑）	2点
◇コヤスノキ	1点

業績概観

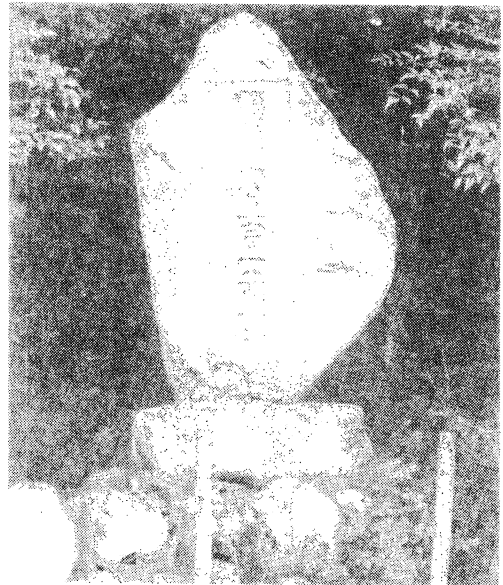
- 大上宇市は揖保郡新宮町篠首の人で、幼い時から病弱であったために薬草の服用を目的に独学で始めた植物研究が動植物、地学、天文、気象、農業、養蜂など広い分野の研究に広がっていった。
- 彼の研究業績で著しいのはコヤスノキ、リュウキュウコザクラ、ホンゴウソウ、タキミシタなど分布上注目すべき植物の発見、オオウエゴマガイ、オオウエキビ、ハリマキセル、ハリマキビなど陸産貝類新種の発見、そしてキノコ類の採集と記録である。
- 研究方法は標本よりも図示記載を重視する本草学者の系列に属していた。戦後なお多量に残されていた植物・貝の標本等は残念ながらそのほとんどが失われてしまったが、毛筆で図示記載した多くの記録が現存しており、研究に用いた図書、調査研究を発表した雑誌とともに彼の自然史研究への情熱と努力のあとをしのぶことができる。



コヤスノキ



大上宇市翁 63歳当時
(写真提供 大上七郎氏)



顕彰碑

昭和28年8月、新宮町小中学校教職員により、コヤスノキ発見地の天王神社近くに建立された。

「宇一」は通称名であり、戸籍名は「宇市」である。そのほかにも「嶺海」「山海子」などの号を用いていた。

大上宇市～その生の軌跡～

- 慶応元年 5月27日 揖保郡新宮町(旧香島村)篠首に生まれる。
- 明治6年 篠頭小学校入学(8歳)
- 22年 本草綱目(李時珍著全52巻)を買い薬草研究を始める。(24歳)
- 23年 寒暖計を買い気象の記録を始める。
- 26年 三重県 飯柴永吉(鮮苔類研究者)と標本交換を始める。
- 29年 「播美深山の枝折り」を書き始める。
- 32年 東京大学大学院生矢部吉禎の依頼で送った標本中にコヤスノキ・タキミシダ・リュウキュウコザクラがあった。牧野富太郎博士がコヤスノキを新種として学名を与える。
3月、京都に貝類研究者平瀬与一郎を訪ね、以後陸産貝類の採集に専念。オオウエキビ、オオウエゴマガイなどの発見となる。
- 39年 5月、植物学雑誌232号に「中国の植物に就て」発表
- 40年 介類雑誌第1巻6号に「陸介採集小談」の連載を始める。
- 大正3年 3月8日、永年にわたる博物研究に対し、揖保郡長より賞状並びに賞金拾円を受ける。
- 4年 8月、「田島雑草目録」印刷。
- 7年 菌類標本を安田篤教授に送り始める。
- 8年 京都大学小泉源一教授より植物標本の寄贈を依頼される。
11月～昭和3年、篠首総代を勤める。
- 10年 12月16日、牧野富太郎博士、コヤスノキの自生を見るため来訪1泊する。
- 11年 秋、京都大学研究生三木茂来訪、コヤスノキを京大植物園へ移植。
3月、「二千菌譜」巻の1を書き始める。
- 13年 5月14日、菌類標本の同定指導を受けていた第二高等学校教授安田篤歿。
- 14年 5月25日、京都大学講師田代善太郎来訪。標本を見る。
- 昭和2年 県天然記念物調査委員山鳥吉五郎コヤスノキの基準標本の原本調査に来る。
- 4年 春から軽度の神経衰弱(自称)となる。
- 11年 5月17日、兵庫県博物学会から感謝状を受ける。「最後の雑菌譜」を書く。(72歳)
- 16年 5月21日歿(77歳)

大上宇市資料展によせて

兵庫県立西播磨文化会館

館長 大西章夫

このたび、コヤスノキの発見者として知られ、播磨植物の研究に先鞭をつけた郷土の博物研究者、故大上宇市氏の貴重な研究資料、自筆の書物、標本等を展示できることになりました。

大上氏は慶応元年(1865)、揖保郡香島村篠首の生まれで、77年の人生の大半を郷土の動植物、考古学等の博物研究に没頭、数多くの研究記録を残されています。それらの中には、今なお学術的に価値あるものも少なくありません。

また、明治、大正期の指導者も十分な参考書もない時代に、生活苦の中で周辺の人々からは奇人扱いを受けながら、独力で学び続けた氏のひたむきな向学心とその業績に触れることは、豊かな現代に生きる私たちに大きな刺激を与えてくれるものと思います。

今回の展示に際し、散逸しつつあった資料の収集、整理等に献身的な御尽力をいただいた兵庫県生物学会理事の建部恵潤氏、現東栗栖小学校長の小谷薫氏、そして郷土史研究家の滝浦重市氏、丸山忠治氏の本展示実行委員各位に感謝しますとともに、これを機会に大上氏についての理解が地域の人々にさらに高まることを期待いたします。